

- 8組でキッズサンガ□1
- 阿弥陀さまと私□2
- 新・祖蹟点描□3
- キッズサンガ写真特集□4
- 本山・教区・各組の動き□7
- つれもて聴こら□8



「紀伊国名所図会」に描かれた江戸時代後期の鷺森御坊

2014年(平成26年)
10月1日
第102号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 ☎(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

夏休みお寺に集う

宗派では「お寺を子どもの居場所に」をテーマに、キッズサンガ運動を展開中。和歌山教区でも、夏休みを利用してキッズサンガー子どものつどいを8組で開催。各組で工夫を凝らした催しに、合わせて621人の子どもたちが参加した。

※キッズサンガとは、キッズ(子どもたち)とサンガ(仏教徒の仲間)を結び付けた「お寺に集う子どもたち」を意味する造語。

8組621人の子ら
がキッズサンガ参加



上手に合掌できたかな
(伊那組キッズサンガ)

「」消息披露と宗派公聴会

6月6日の法統継承式で第25代専如門主が発布された「法統継承に際してのこ

10月3日、鷺森別院
総局が全国の各教区を巡回して意見を聴く公聴会が10月3日午後2時から、鷺森別院本堂で併せて開かれる。

第1部「御消息披露式典」では、改めてご消息披露・伝達のあと、その趣旨を演達。続けて、特命布教任命講師の藤俊乗師(和歌山教区紀南組善福寺住職)が約20分の法話。

④⑤面に写真特集

第2部「公聴会」では、

ご消息を受けて、宗派の実践運動推進と、次期実践運動総合計画策定に向けて参加者の意見を聴く。参加対象は、和歌山教区内の僧侶・門信徒。ご参加ください。

【加入者名】安芸教区災害対策委員会

【問い合わせ】浄土真宗本願寺派安芸教区教務所・災害対策委員会(〒730-0801 広島市中区寺町1番19号)電話082(2)31)9052。

広島土砂災害で門信徒31人犠牲

8月20日未明の豪雨により発生した土石流で、広島市安佐南区・安佐北区では、犠牲者73人、行方不明者1人の被害が出ているが、犠牲者のなかには、安芸教区沼田組浄楽寺の門信徒4人など、門信徒31人が含まれている(9月2日現在判明分)。



土石流が甚大な被害をもたらした広島市安佐南区八木地区(8月28日撮影、本願寺新報社提供)

安芸教区が義援金募る

安芸教区教務所ではこれらを受けて、災害義援金を募っている。送金先などは左記の通り。

【名称】広島市8・20豪雨災害義援金

【受付口座番号】郵便振替01310-8-25003

【加入者名】安芸教区災害対策委員会

阿弥陀さま

ハウツー仏事と私

④ 報恩講

10月から翌年1月ごろまで、全国各地のお寺やご家庭で報恩講が勤められる。報恩講シーズンを迎えます。

恩講が始まりました。つまずき報恩講は、親鸞聖人のご遺徳とご苦勞をしのび、そのことを通して阿弥陀如来のお救いを心に深く味わわせていただく法要で、

親鸞聖人の「ご恩に報いる集い

「報恩講さん」「ほんごさん」と呼ばれて親しまれている報恩講は、ひと言で言えは宗祖親鸞聖人の祥月命日の法要のことです。

浄土真宗のご縁を頂く私たちにとって、最も大切な法要と言えます。

これに報いる講(集い)という意味で「報恩講」と名付けられたのは、親鸞聖人のひ孫である本願寺第3代覚如上人の独創。覚如上人が親鸞聖人33回忌に当たる永仁2年(1294)に「報恩講式」を作った法要の次第を定め、親鸞聖人の遺徳をしのばれたことから、報

親鸞聖人の祥月命日は1月16日(旧暦11月28日)です。で、本山・西本願寺では、1月9日から16日までの七昼夜、御正忌報恩講が盛大に勤められます。全国のお寺の多くでは、ご本山に先駆けて、秋口から年内にかけて報恩講をお勤めしますが、これを「御

取越報恩講」とか「御取越」「御引上会」などと呼んでいます。報恩講といえは、本堂に奉懸される「御絵伝」といわれる掛け軸や、独特の節回しによる「御伝鈔」の拝読が連想されますが、これらも、もともとは覚如上人のお仕事に由来します。覚如上人は「報恩講式」を作られた翌年、親鸞聖人の遺徳を讃仰するため、そ

の生涯を絵巻物にされた『本願寺聖人親鸞伝絵』二巻を著されました。のちに覚如上人の長男存覚上人が絵巻物の詞書の部分分を「御伝鈔」、絵の部分分を「御絵伝」に分けられ、本願寺第8代蓮如上人の時代、明応5年(1496)の御正忌報恩講から、本堂に御絵伝を奉懸し、御伝鈔を拝読する形となり、今に受け継がれています。



在家報恩講のお飾りの一例。前卓には水引と打敷を掛け、仏具は五具足、餅・菓子・果物をお供え

親鸞聖人が小豆が大好きだったとの言い伝えから、赤飯か普通のご飯に小豆や黒豆を入れたものに、大根、里芋、しいたけ、こんにゃくなどの煮物を添えるのが一般的です。ただし、残念なことに、報恩講にお齋を振る舞うお寺が少なくなっています。

報恩講を勤めるのはお寺だけではありません。ご家庭のお仏壇の前で勤める場合を「在家報恩講」といい、大切にされてきました。

その際のお仏壇のお荘厳(お飾り)は、前卓に水引(下掛け)と打敷を掛け、ろうそくを立て一対(朱ろうそく)、花瓶一対、香炉の「五具足」という最も丁寧なお飾りとし、餅、菓子、果物などをお供えます。

ご家庭、所属寺院、別院ご本山で報恩講のご縁に遇い、浄土真宗のみ教えに遇えたことをご一緒に喜び、ご恩に報いる思いでお参りいたしましょう。

(松本教智・御同朋の社会をめぐす運動)和歌山教区委員長

ラジオ放送番組
みほとけとともに
- 西本願寺の時間 -

◆毎週土曜日 午前5時50分から
- 和歌山放送 (WBS) -

和歌山・串本	1431kHz
田辺・すさみ	1233kHz
橋本・高野山	1485kHz
新宮・御坊	157kHz

いわれる精進料理を振る舞うのも、報恩講ならではの光景でした。

新 祖蹟点描

4 青蓮院

男とする幼き5人の兄弟は、伯父である日野範綱の手に委ねられた。

時代はこのとき、権勢を誇る平氏政権に対する不満が噴出し、いわゆる源平争乱期に突入しつつあった。

1180年(治承4)5月の以仁王による平氏討伐の令旨をきっかけに、同年8月に源頼朝が、9月に源義仲が相次いで挙兵、10月には富士川の合戦で平氏軍



親鸞聖人ゆかりの植髪堂

よれば、餓死者は2カ月で少なくとも4万2300人

のように記している。

「朝廷に仕えて霜雪をも戴き、射山にわしりて栄華をもひらくべかりし人なれども、興法の因うちにきざし、利生の縁ほかに催ししによりて、九歳の春のころ、阿伯従三位範綱卿(ときに従四位上前若狭守、後白河上皇の近臣なり、上人の養父)前大僧正(慈円慈鎮和尚)これなり、法性寺殿御息月輪殿長兄の貴坊へあひ

人であったが、仏法興隆の思い生じ、衆生救済の縁に促されて、9歳の春の頃、養父・日野範綱に伴われて慈円(慈鎮和尚)の坊へと赴き、髪をそって出家して「範宴」と法名を授けられた」といふ。

具したてまつりて、鬢髪を剃除したまひき。範宴少納言公と号す(丸かっこ内は原文では小文字)

「伝絵」の美しい表現の合間から、幼き親鸞聖人に当初期待されたのは貴族としての栄達だったとの事情が垣間見えるようにも思われるが、ここで強調されているのは、ご出家はあくまでも親鸞聖人ご自身の尊い志によるものだったという点である。

「九歳の春」お徳度の地

父の有範公が何らかの事情で出家隠棲を余儀なくされたせいで、親鸞聖人を長

が源氏軍に大敗。翌年閏2月には、平氏の大黒柱である平清盛が病没し、さらなる戦火の拡大が予想された。

つまり、親鸞聖人は朝廷に仕えて年月を重ね、上皇に仕えて栄華を開くはずの出家は明日にしてはどうか

しかも、平清盛が亡くなったのと同じ年とその翌年、京都は「養和の大飢饉」に見舞われる。

それら事態がいかなる影響を与えたか定かではないが、平清盛が没し、人々が養和の大飢饉にあえいだ1181年(養和1)の春、親鸞聖人は数え年9歳で出家して仏門に入られた。

それを裏打ちするように、ご出家については興味深い逸話が伝えられている。慈円の坊に夕闇迫る時刻に着いた親鸞聖人は、遅いから出家は明日にしてはどうか

「方丈記」に

そのご出家のいきさつを、聖人のひ孫覚如上人は『本願寺聖人親鸞伝絵』に、次

と勧められたのに対し、「明日ありと思う心の仇桜 夜半に風の吹かぬものは」

と歌で応じられたという。夜中に風が吹いて、桜の花が散ってしまうかもしれないように、明日があるという思いが仇となって、出家の機会を永久に逃してしまいかもしれません。ぜひ今日のうちに出家させてください。親鸞聖人の出家への強い決意が表れていると、大切にされている歌である。出家して仏門に入ること



大きなクスノキが根を張る青蓮院

「方丈記」に

願寺聖人親鸞伝絵」に、次

青蓮院

場所 京都市東山区粟田口三条坊町69の1
電話075(561)2345

交通 京都駅から地下鉄烏丸線で約6分、
「烏丸御池」駅で東西線に乗り換え
約5分、「東山」駅下車、徒歩約5分

(本紙編集部)

伊那組

8/21

54人

光明寺



かるた遊び

有賀組 8/24

38人
正善寺

一閑張りづくり



笑顔あふれる



Photo News
フォト・ニュース

和歌山西組

7/13
87人

鷺森別院



お念珠づくり

楽しい汗だくの1日

この夏も、本堂・境内に子どもたちの元気な声が響き渡った。今年も夏休みの間、和歌山教区内で8組がキッズサンガを開催。カルタ遊びをはじめ、念珠作り、マジック、竹馬などとして、楽しい1日を過ごした。このページでは、笑顔あふれる子どもたちの姿を写真を通して綴ってみた。題して「笑顔あふれるキッズサンガ」

夏休みに8組が開催

マジック



御坊組

8/20
210人

日高別院

海南組 8/23 63人 了賢寺

たのもー!!



和歌山北組

7/27
68人
慶園寺

エコライトづくり



和歌山組 8/23~24 33人 鷺森別院

日高組 8/23 68人 円行寺

竹鉄砲



カレーづくり

青色青光

本山に紀州っ子集う

第42回和歌山教区少年連盟児童念仏奉仕団

和歌山教区少年連盟は、8月1日から1泊2日の日程で、京都西本願寺の児童ス3台と自家用車2台、子

和歌山教区少年連盟は、

念仏奉仕団に参加した。



広いお堂をいっせいに拭き掃除(西本願寺御影堂)

ども83人、保護者を含め113人が本山に集結。新たに国宝に指定される両堂(阿弥陀堂・御影堂)



龍の子探検隊(唐門前)

で、汚れている所を一生懸命に探し、丁寧に拭き掃除をして汗を流した。ウォークラリー「龍の子

探検隊」では、阿弥陀堂、御影堂をはじめとして書院や飛雲閣も探索。鴻の間の欄間のコウノトリの数や、白書院の部屋の数など、境内各所に設けられた全部で12の問題を解きながら、阿弥陀さまと本願寺について学びを深めた。

また、当日は本願寺の盆踊り(1〜2日)が開催されており、夕食後、さまざまなお土産や出店の購入物を楽しんだ。

二日目のご門主さまとのご面接では「阿弥陀さまは常に私と一緒にいてくださることを忘れないでください。この奉仕団での出来事を家族の方にお話しし

てください」との二つの約束をしてお別れ。帰りは、少し遠回りをして、嵯峨野トロッコ列車に乗車。美しい自然の風景を満喫し帰路へ。子どもたちはこの奉仕団を通して、新しい友達と、楽しい思い出をつくった。



嵯峨野トロッコ列車でポーズ

各ブロックで聞法の集い

教区門信徒総研修会

毎年恒例のブロック門信徒総研修会(聞法の集い)が和歌山教区内3カ所で開催され、総勢850人が熱

毎年恒例のブロック門信徒総研修会(聞法の集い)

徒総研修会(聞法の集い)

が和歌山教区内3カ所で開催され、総勢850人が熱

心に法話を聴聞した。

▽第1ブロック 9月13日、本願寺鷺森別院。参加者250人。講題は「念仏申す

人生―あなたが先ですー」。講師は、野瀬善隆さん(滋賀教区彦根組清徳寺)。

▽第2ブロック 9月6日、紀美野町総合福祉センター。参加者350人。講題は「仏教のものの見方・考え方」。講師は、嶋津弘隆さん(福

▽第3ブロック 8月30日、日高町保健福祉総合センター。参加者270人。講

題は「願わくは この功德をもって…」講師は、内田

正祥さん(東海教区三重組

正覚寺)。

臨時教区会開催



教区会で慎重審議(鷺森ホール)

去る9月5日、和歌山教区教務所長が招集して、平成26年度和歌山教区臨時教区会が本願寺鷺森別院で開催され、平成25年度一般会計決算を含む財務承認議案7件が、慎重審議の上、可決承認された。

井教区足羽組弘誓寺)。

▽第3ブロック 8月30日、日高町保健福祉総合セン

ター。参加者270人。講

題は「願わくは この功德

をもって…」講師は、内田

正祥さん(東海教区三重組

正覚寺)。

第21回平和を希う念仏者の集い

―全戦没者追悼法要―

和歌山教区で7月9日、鷺森別院を会場に、第21回「平和を希う念仏者の集い」全戦没者追悼法要―を

同日集いは「和歌山大空襲」



厳かに勤められた全戦没者追悼法要 (鷺森別院本堂)

鷺森別院本堂でお勤めし、教区内から僧侶・門信徒ら約300人が参拝した。

戦争犠牲者を追悼し平和への取り組みを進めようと、和歌山教区が毎年開いているもの。



各組代表が献灯献花

青色青光

石川師は、大空襲を受けた大阪の悲惨な光景を目の当たりにした経験など、日本が満州事変以来、戦争に明け暮れていたころの自身の少年時代について話すとともに、昨今の集団的自衛権行使容認の風潮に触れ、日本が再び戦争の矢面に立つことになったら、子や孫はどのような未来を迎えるのか、非暴力こそが仏教徒の願い、などと語った。

追悼法要は各組代表者の献灯献花で始まり、正信念仏偈をお勤めし、仏教讃歌を唱和。引き続き、石川欣也師(奈良)が「憲法9条は仏さまの願いです」と題して講演を行った。

鷺森テレホン法話
おにしさん
073-422-0243

こころの電話 (海南組西光寺)
TEL(073) 487-2430

ヤングこころの電話 (同 上)
TEL(073) 487-0404

こころの電話 (御坊組専福寺)
TEL(0738) 44-0874

日高別院の催し

■常例法座 10月20日、午後1時30分よりお勤めのあと、尾野智行師(兵庫教区)の法話。3時30分まで

■報恩講 12月4日から6日までの3日間、日高別院において報恩講が勤修される。布教使は山名学道師(山口教区)。日程は、左記の通り。

▽4日、午後1時30分から

組実践運動推進 僧侶研修会開催

伊那組では8月25、26日、1泊2日の日程で、本願寺聞法会館を会場に「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 推進僧侶研修会を開催した。

2部では、宇多光誠師(光明寺)が「過去帳またはこれに類する帳簿の開示問題」をテーマに講義。過去帳の取り扱いについて僧侶らが再確認した。研修後は、親睦会を開催し組内の交流を深めた。

2日目は、本願寺のお晨朝参拝、龍谷ミュージアムを見学し閉会。

初日の研修は2部構成。1部では、真宗教義の3本柱をテーマに研さん。昨年までに「往生浄土」「他力本願」を取り上げているため、今年は三栗章夫師を講師に招き「悪人正機」について学びを深めた。

伊那組では、20力寺のうち7力寺が住職不在という状況を踏まえ、結束して協力体制を整える必要があるとの考えから、僧侶同士の親睦に力を入れている。

正信念仏偈作法第2種をお勤め、引き続き法話。午後3時30分から讃仏偈をお勤め。この日は、総代会、仏教壮年会参拝奨励日。

▽5日、午前7時から初夜礼讃偈をお勤め。午後1時から御坊幼稚園園児参拝。午後3時から正信念仏偈草譜をお勤めし、引き続き法話。この日は、連研修了者参拝奨励日。

▽6日、午前7時から正信

念仏偈行譜をお勤め、午前10時30分から、仏教婦人会研修会、午後1時30分から正信念仏偈作法第2種をお勤めし法話を聴聞。この日は、仏教婦人会参拝奨励日。

■除夜会 午後11時30分から本堂にてお勤めし、梵鐘を撞く。引き続き、午前0時30分頃から元旦会が勤修される。

(本願寺日高別院 御坊市御坊100)

つれもて 聴こしら

このうなぎを『聞』といふ
なり(『浄土真宗聖典註釈
版』678頁)と、示され
ました。

高橋格昭

私の側の一切の疑いやは
からいを捨て、ただ素直

陀仏」というお念仏となっ
て私に届けられている阿弥
陀さまのお慈悲を、そのま
ま聞かせていただくことで

す。そこに、私の思いを超
えた仏さまの智慧の世界が
開かれてくるのです。

私たちは常に、何かを選
びながら生きています。朝

これを食べようか、あれを
食べようか、意識するしな
いに関わらず選んでいます。

それは人生という道の岐
路においても同じです。私
たちは常に、どちらがいい
か悪いか、どちらが損か得
かということを選択しなが
ら生きています。

しかし、確かな智慧を扱
り所にしていない私たちの
選択には、「本当にこれで
いいのだろうか」「あちら
にした方がいいのではない
か」という不安、また「こ
ちらにしなければよかった」

「あちらにしておけばよかつた」という後悔が尽きるこ
とはありません。

しかし、阿弥陀さまのお
慈悲を聞かせていただいた
とき、私の命は、すでに阿
弥陀さまの確かな智慧によっ
て選ばれた道を歩んでいる
のだと教えられます。

このお軽さんの歌は、私
たちに、そんな新しい気付
きと人生の喜びを伝えてく
れるのです。

今すでに仏と成る道を歩む



聞くより先のお助け

起きたら、顔を洗おうか、
お茶を飲もうか、トイレへ
行くか、食事のときは、

27日までは毎座午後1
時30分からお勤め、2時ご
ろから坂原英見師(三次市
作木町・東光坊)の法話を
聴聞する。28日は午前10時
からお勤めのあと、法話。

夜布教が行われる。
期間中の午前は、各教化
団体の集いが開催される。
24日仏教壮年会連盟、25日
寺族婦人会連盟、26日門徒
総代会、27日仏教婦人会。

鷺森別院の催し

■常例法座

10月15、16日、加藤龍行
師(門真市上島町・明光寺)。
11月15、16日、釈宣寿師
(大津市尾花川・長泉寺)。
12月15、16日、南部松見師
(大阪市住之江区足立・寶
林寺)。毎座、午後1時30
分から3時30分。

■報恩講

11月24日から28日の5日
間、恒例の報恩講を勤修す

27日は昼休憩を利用して、
社会福祉推進協議会和歌山
教区支部主催のチャリティ
バザー、和歌山組仏教婦人
会による手作り日用品販売
(ターナ活動)などの協賛
の催しを開催。午後7時か
ら御伝鈔拝読、引き続き通

11月8日、子ども会を開
く。午前10時から正午まで。
12月13日は、和歌山教区
少年連盟子ども集いを鷺
森別院で開催。参加希望は
随時、本願寺鷺森別院の担
当・小山まで。

聞くとは、私自身が何か
を得ようと求めていくので
はなく、すでに「南無阿弥

阿弥陀さまのお慈悲を聞
かせていただく、私が聞
くより先に、そのお慈悲が
私を包み込み、必ず仏さま
と成る道を歩ませてくださっ
ていることに気付かされる。
そこに私の側の用事を差し
挟む余地はない。ならば、
ただ阿弥陀さまのお慈悲を
聞かせていただくだけであ

ると、ユーモアたっぷりな
歌われています。
聞くという行為について、
宗祖親鸞聖人は『一念多念
文意』のなかで、「きくこと
いふは、本願をききて疑ふ

に阿弥陀さまのお慈悲を聞
かせていただくことが大切
であることのお示しです。
聞くとは、私自身が何か
を得ようと求めていくので
はなく、すでに「南無阿弥

響流十方

10〜12月の催し

本山

- 10月15〜16日 龍公会(大谷本廟報恩講法要)
- 10月中旬〜11月23日 献菊展(京都菊栄会協賛)
- 11月22日〜23日 秋の法要(全国門徒総追悼法要)
- 12月20日 御煤払
- 12月31日 除夜会

和歌山教区

- 10月3日 「法統継承に際してのご消息」披露/総局巡回(公聴会)(鷺森別院)
- 10月8日 少年連盟委員会(鷺森別院)
- 10月15日 門徒推進員聞法の集い(鷺森別院)

教区内各組

- 10月24〜26日 仏教壮年会連盟研修旅行(全国仏教壮年会)
- 10月30日 寺族婦人会連盟研修会(鷺森別院)
- 11月15日 門徒推進員聞法の集い(鷺森別院)
- 11月19日 仏教婦人会連盟清掃奉仕(鷺森別院)
- 11月26日 責任役員辞令・門徒総代登録証伝達式(鷺森別院)
- 11月27日 僧侶・寺族物故者追悼法要(鷺森別院)
- 12月3日 近畿同朋運動推進協議会60周年記念大会(本願寺)
- 12月8日 歳末助け合い街頭募金実施
- 12月13日 和歌山教区子どももの集い(鷺森別院)
- 12月15日 門徒推進員聞法の集い(鷺森別院)
- 12月16日 近畿地区仏教婦人会大会(奈良教区)

和歌山組

- 11月22日 第6期連続研修会④(鷺森別院)

和歌山東組

- 10月18日 第5期連続研修会⑩(鷺森別院)

和歌山西組

- 10月5日 組内会(光源寺)
- 11月9日 第15期連続研修会⑩(光源寺)
- 12月6日 組内会、実践運動推進僧侶研修会(安楽寺)

和歌山北組

- 10月26日 第3回組内会(慶圓寺)
- 11月22日 第11期連続研修会⑨(教願寺)
- 12月8日 実践運動任職・僧侶・寺族研修会(鷺森別院)

加茂組

- 10月11日 第14期連続研修会⑫(安養寺)
- 11月未定 寺族婦人研修会(浄満寺)
- 12月20日 僧侶寺族研修会、

海南組

- 10月4日 門徒総代会・仏教壮年会合同研修会(浄國寺)
- 10月5日 仏教婦人会・寺族婦人会合同研修会(津村別院)
- 10月19日 「組活動推進事業」実行委員会(了賢寺)
- 11月15日 実践運動推進協議会(西専寺)
- 12月6日 実践運動推進僧侶・寺族研修会(了賢寺)
- 12月8〜9日 第5回組念仏奉仕団(本願寺)

海草組

- 10月11日 第5回任職・総代会親睦会(会場未定)
- 10月18日 第9回「子どもつどい」〜ほとけの子研修会〜(真宗寺)
- 11月8日 実践運動推進協議会(報徳寺)
- 12月6日 組内会(報徳寺)

伊那組

- 10月9日 実践運動推進協議会(光明寺)
- 12月5日 組役員会(橋本・極楽寺)
- 12月12日 第2回組内会

有賀組

- 12月6日 実践運動推進僧侶研修会、組内会(正覚寺)

有田南組

- 9月12日 第8期連続研修会⑧(教覚寺)
- 10月10日 第8期連続研修会⑨(教専寺)

有田北組

- 10月中旬 キッズサンガ(西光寺)
- 12月23日 実践運動推進僧侶研修会(浄満寺)

日高組

- 10月7日 寺族婦人会研修会(一行寺)
- 12月9日 寺族婦人会研修会(即生寺)
- 12月14日 真宗法座(教専寺)
- 12月14日 第9期連続研修会①(教専寺)
- 11月15日 第7期連続研修会③(日高別院)
- 12月5日 第7期連続研修会④(日高別院)
- 12月26日 実践運動推進僧侶研修会、組内会(日高別院)

御坊組

- 11月15日 第7期連続研修会③(日高別院)
- 12月5日 第7期連続研修会④(日高別院)
- 12月26日 実践運動推進僧侶研修会、組内会(日高別院)

紀南組

- 10月21〜22日 総代会念仏奉仕団
- 11月未定 総代会研修会(会場未定)
- 11月未定 実践運動推進協議会(会場未定)

得度

- 8月 鈴木晟太(和歌山北組蓮乗寺)、藤本英史(和歌山北組正念寺)、藤本優子(和歌山北組正念寺)、三輪紅巴(海草組佛源寺)
- 8月 刀祢重信(和歌山組圓光寺)

敬弔

- 7〜8月
- ▽亀井利行(有田北組西光寺・住職) 7月8日
- ▽息長貞恵(御坊組安養寺・衆徒) 7月19日
- ▽林貞子(日高組宝國寺・衆徒) 7月20日
- ▽龍神美法(日高組光明寺・衆徒) 7月31日
- ▽伊藤隆文(御坊組安養寺・住職) 8月4日
- ▽北山登美代(有田南組最勝寺・前坊守) 8月19日

**「御同朋の社会をめざす運動」
(実践運動) 和歌山教区委員会**

そっとつながる
ホッがつたわる
「結び絆から、
広がる縁へ」

**和歌山教区
重点
プロジェクト
2014年度**

●総合テーマ

そっとつながる ホッがつたわるく結ぶ絆から、広がる縁へ

●実践目標

日常の寺院活動の活性化
II 寺院の魅力と特色を發揮し、御同朋の社会をめざす。

●期間

2012(平成24)年度
～2014(平成26)年度

●達成目標

社会が抱える過疎化・高齢化・子育てなどの諸問題に積極的関わっていきける寺院活動を推進し、御同朋の願いに応える活動を進める。御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

●推進計画

◆平成24年度の取り組み
I 伝道教化・法座活動の実践と支援

ア) 全員聞法・全員伝道の理念に沿った法座活動の実践と法話会などの展開。

イ) 葬送儀礼と仏事について僧侶・門徒への理解を深める。
II 組、寺院におけるキッズサンガ、仏のこどもの育成活動への支援。

◆平成25年度の取り組み
I 伝道教化・法座活動の実践と支援

ア) 全員聞法・全員伝道の理念に沿った法座活動の実践と法話会などの展開。
▽平和を希う念仏者の集い
▽門信徒総研修会
第1ブロック 8月31日
第2ブロック 9月7日
第3ブロック 9月1日

▽開教布教(布教団)
紀南組妙福寺・西法寺

▽常例線布教の実施と参拝

奨励

▽組連研・連研のための研修会等の実施
▽教区報・ホームページによる伝道教化
▽テレホン法話の周知
▽人権問題への取り組み
イ) 葬送儀礼と仏事について僧侶・門徒への理解を深める。

①葬儀冊子の頒布

教区委員会委員のみなさま

〈委員長〉

松本教智(海南組了賢寺)

〈副委員長〉

立花美一(海南組浄国寺)
宇多光誠(伊那組光明寺)

〈常任委員〉

竹本淳一(和歌山組西法寺)
廣田芳英(和歌山西組安楽)

②勤式講習会の実施

II 組、寺院におけるキッズサンガ、仏のこどもの育成活動への支援。

▽教区キッズサンガの開催
▽各組キッズサンガへの支援

◆平成26年度の取り組み

I 伝道教化・法座活動の実践と支援

ア) 全員聞法・全員伝道の理念に沿った法座活動の実践と法話会などの展開。

1. 法座支援の周知と実施
寺院活動支援部(過疎対策担当) 法座支援について周知し法座を開設いただく
2. 開教布教(布教団) II
紀南組にて開催予定

3. 常例線布教の実施と参拝奨励

4. 門信徒総研修会(※括弧内は本年度担当組)
第1ブロック(和歌山北)

第2ブロック(有賀)
第3ブロック(日高)

5. 組連研・連研のための研修会等の実施

6. 教区報・ホームページによる伝道教化教区報100号記念号の発刊
7. テレホン法話の周知

8. 平和を希う念仏者の集い(7月9日)

9. 人権問題への取り組み
II 近同推創立60周年記念大会(12月3日、本願寺)

10. 「御同朋の社会をめざす運動(実践運動) 推進僧侶研修会」の開催

(任期)平成26年4月1日
～平成28年3月31日

梶信隆(紀南組正念寺)

〈委員〉辻本真一朗(和歌山組西念寺)、佐々木祐行(和歌山組専養寺)、池長智裕(和歌山組善行寺)、西殿憲親(和歌山組西正寺)、木村俊隆(和歌山東組善正寺)、山本勇(和歌

山北組慶圓寺)、藤田隆二(加茂組浄満寺)、中山千恵(海草組安養寺)、芝山賢祐(伊那組西照寺)、三枝正憲(有賀組円照寺)、林秀信(有田南組教専寺)、立森秀芳(有田北組教専寺)、津本京子(御坊組天性寺)、湯川逸紀(御坊組三宝寺)、小野秀康(紀南組勝専寺)

す運動(実践運動) 推進僧侶研修会」の開催
11. 「御同朋の社会をめざす運動(実践運動) 推進協議会」の開催
①葬儀冊子の頒布と活用
②勤式の充実をはかる
II 組、寺院におけるキッズサンガ、仏のこどもの育成活動への支援。教区キッズサンガの開催と各組キッズサンガへの支援
▽教区キッズサンガ開催(平成26年12月13日)
▽各組キッズサンガ開催
以上